

第8講 文字テキスト

Question Timeの課題：以下のテキストを解釈しなさい。

考慮すべき事情：

この碑文は前2380年頃のシュメールの碑文である。出土したのはメソポタミア南部、ラガシュという都市国家を構成する都市ギルスから出土している。ラガシュは『シュメール王名表』にはその王の名前を留めることはなかったが第1王朝の時代に極めて強大な勢力を誇った時代もあり、とりわけウルナンシュ朝の時代にはエアンナトゥムという強力な王を生み出し、シュメール世界の覇権を一時握ったこともあった。その後は弱体化していくが、シュメール世界でも例外的に広大な領土を誇ったラガシュは最期まで有力な都市国家であり続けた。

碑文を作成したのはラガシュ第1王朝最後の王ウルカギナで、これまで行ってきた政治業績を誇っている。しかし当時、北の隣国ウンマにはルガルザゲシという王が現れ急速に国力を伸ばしていた。やがてウルカギナ治世5年目にルガルザゲシは国境を超えラガシュに攻め込み、ウルカギナは大敗を喫することとなり、その領土の殆どを失ってしまうことになる。そして南部メソポタミアはルガルザゲシのもとに歴史上初めて統一されることになる。

テキストの背景には前任者ルガルアンダ王に対する批判がある。一般的にルガルアンダ王の時代に神殿領が王権による管理下に置かれるようになったとされているが、この解釈に対する批判が今日出されている。それによると王権による神殿領篡奪ではなくて、従来王領地が便宜的に神殿領の扱いをされていたに過ぎず、ルガルアンダは決して神殿領を篡奪したのではないと言われている。

【テキスト】

「エンリルの第一の戦士、ニンギルスのために、ラガシュの王、ウルカギナはティラシュ宮殿を建て、彼（ニンギルス）のためにアンタスツラを建て、彼女（バウ）のためにバウの家を建て、彼（ニンギルス）のためにブルサク、彼のsadug家を建て、彼女（バウ）のために「聖なる都市」において羊を刈る小屋を建て、ナンシュのためにイドニーナドゥ（「ニーナ」に通じる運河））、彼女（バウ）の愛されし運河を掘り、彼女のためにその貯水池を海に対するようにし、彼（ニンギルス）のためにギルスの壁を建てた。

かつて、昔より、（人）の種が現れた（日）より、船頭たちの係りの者は船を差し押さえた。羊飼いの長はロバを差し押さえた。羊飼いの長は羊を差し押さえた。漁業の係りの者は漁場を差し押さえた。gudu神官たちの大麦の配給はアシュテ（おそらくエンシの倉庫）で量られた。羊毛を持つ羊の羊飼いは白羊（の剪毛）に対して銀を払わねばならなかった。耕地の測量技師の係りの者、gala長、agrig、醸造の係りの者、総てのugulaはgaba仔羊の剪毛に対して銀を払わねばならなかった。神々の雄牛はエンシのタマネギ畑を耕し、エンシのタマネギと胡瓜の畑は神の最良の畑の中にあつた。birraロバとサンガの入賞した雄牛は（エンシへの税として）立ち去らせられた。エンシの従者はサンガの大麦を分けた。サンガの．．．．．15の事項不明．．．．．身に纏う衣服は税として持ち去られた。食料（供給）の（係りの）サンガは貧しい母の庭の樹を切り倒してその実を持ち去った。

死者の墓地に運ぶものは、彼のビールは7壺であり、彼のパンは420であつた．．．．．（不明の官職）．．．．．は2ulの大麦、1台の寝台、1脚の椅子を受け取った。ludimmaは1（ul）の大麦を受け取った。

市民をエンキの芦の間に憩わせるものは、彼のビールは7壺、彼のパンは420であつた．．．．．（不明の官職）．．．．．は2ulの大麦、1台の寝台、1脚の椅子を受け取った。ludimmaは1（ul）の大麦を受け取った。

職人は自分たちのパンを乞わねばならなかった。徒弟は大門の食べ物の残りカスを手に入れねばならなかった。エンシの家とエンシの畑、婦人部屋の家と婦人部屋の畑、子供部屋の家と子供部屋の畑は互いに並んで混み合っていた。ニンギルスの境界から海にいたるまで、収税吏がいた。

エンシの臣下がもし彼の畑の最も高い場所に井戸を掘れば、彼は盲を捕らえることとなつたであろう。彼は畑の中にあるmushudu水で盲を捕らえた。

これがかつての慣習であつた。

エンリルの第一の戦士、ニンギルスがラガシュの王権をウルカギナに与え、彼の手が36,000名の中から彼をつかみ出された時、その時に彼（ニンギルス）は彼にかつての法令を命じられた。

彼（ウルカギナ）は彼の王（ニンギルス）が彼に語られた言葉を忠実に守った。彼は船頭の係りのものに船を（差し押さえること）を禁じた。彼は羊飼いの長にロバや羊を（差し押さえるのを）禁じた。彼は漁業の係りのものに漁場を（差し押さえることを）禁じた。彼は倉庫の係りのものにguda神官の大麥配給を（量ることを）禁じた。彼は下役に白羊やgaba仔羊の銀を禁じた。彼は下役に持ち去られていたサンガの税を禁じた。

彼はニンギルスをエンシの家とエンシの畑の王にした。彼はバウを婦人部屋の家と婦人部屋の畑の女王にした。彼はシュルシャガを子供部屋の家と子供部屋の畑の王にした。ニンギルスの境界から海にいたるまで収税吏はいなくなった。

死者を墓地に運ぶものは、彼のビールは3壺、彼のパンは80であった。．．．．．（不明の官職）．．．．．は1ulの大麥を受け取った。ludimmaは3banの大麥を受け取った。ningingirはひとつの婦人用の鉢巻と1silaのバターを受け取った。

彼は門の食べ物の残りカスを（得て）徒弟（の必要を）片付けた。彼は彼らのパンを乞うて職人（の必要）を片付けた。食物（供給の係りの）サンガは貧しい母の庭に入らなかった。

彼は公布した。立派なロバが王の臣下に生まれ、彼の上司が彼に「私はあなたからそれを買いたい」と言ったとき、彼（上司）が彼からそれを買おうとしているとき、彼（王の臣下）は彼に「私の心に喜びとなる銀を量って下さい」と言い、次いで彼がそれを売ることを拒んだとき、上司は彼を殴ってはならない。王の臣下の家が「大きい人」の家に隣接し、「大きい人」が彼に「私はあなたからそれを買いたい」と言うとき、そしてもし彼（「大きい人」）が彼からそれを買おうとするとき、彼（王の臣下）が「私の心を喜ばず銀を量って下さい」とか「私の家に等しいものを大麥で払って下さい」と言い、次いで彼がそれを売るのを拒んだとき、かの「大きい人」は彼を殴ってはならない。

彼（ウルカギナ）は（彼らが）受けた負債（の故に）、税（として宮殿から要求された穀物）の量（の故に）、倉庫（のために宮殿によって要求された）大麥（の故に）、盗み（とか）殺人（の故に投獄されていた）ラガシュの子らを大赦し、彼らを釈放した。

（最後に）ウルカギナは権力を持つものが孤児とか未亡人に対して（不正）を犯してはならないとニンギルスと誓約を為した。

この年の間、彼（ウルカギナ）はニンギルスのためにギルスが持つ小さな運河を掘った。そしてそれを「ニップールから力強きニンギルス」と呼びながら、かつての名前を与えた。「願わくば、その「心」が晴れやかな、清浄な運河がナンシュに清浄な水をもたらしますように」（と唱えながら）、それをニナドゥ運河に接続した。」

（Samuel Noah Kramer, *The Sumerians: their history, culture and character*, 1963より）

【語句説明】

ウルカギナ（2380-2360BC）

ラガシュの王（エンシ）。

前任者のルガルアンダ王の時にラガシュの軍司令官を歴任し、女王のバルナムタラの会計簿から手当を支給されている。

前任者のルガルアンダから王権を篡奪。

治世5年目に隣国ウンマのルガルザゲシに敗れ、治世7年には領土の大半を失う。

エンリル：シュメールの主神

ニンギルス：ラガシュの主神

バウ：ニンギルスの配偶神

ナンシュ：シュメールの女神

ニーナ：町の名前

ギルス：町の名前

エンシ：王のこと

サンガ：神官

女王の部屋：女王の家産

子供部屋：王子たちの家産

エンキ：シュメールの神

silá：シュメールの容量単位で約1リットルに相当

ban：シュメールの容量単位で約10リットルに相当

ul：シュメールの容量単位で約36リットルに相当

このテキストを解釈しなさい。

【ヒント】

オリエントの君主の此の類のテキストはプロパガンダを多く含んでいることを忘れてはならない。

ウルカギナは自らの王位についてどのように正当化しているのか？

ウルカギナ以前の状態はどうだったと主張しているのか？

ウルカギナはどのような政策を実施したと主張しているのか？

事実とプロパガンダによる歪曲をどのように区別できるのか？